



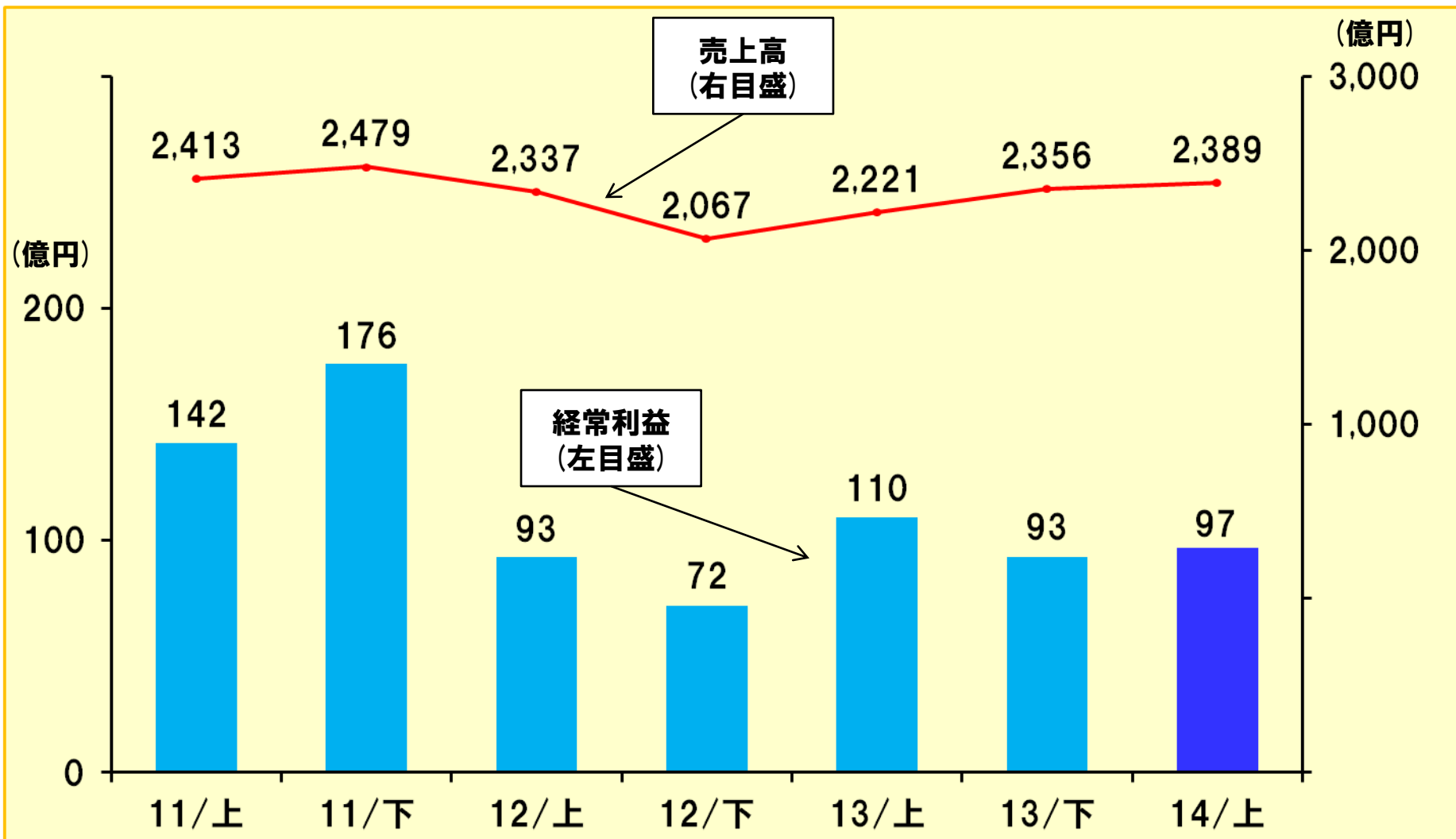
2014年度第2四半期 決算説明会

2014年10月30日

2014年度 第2四半期決算 (2014年4月～9月)

売上高・経常利益推移(半期)

売上高・経常利益推移

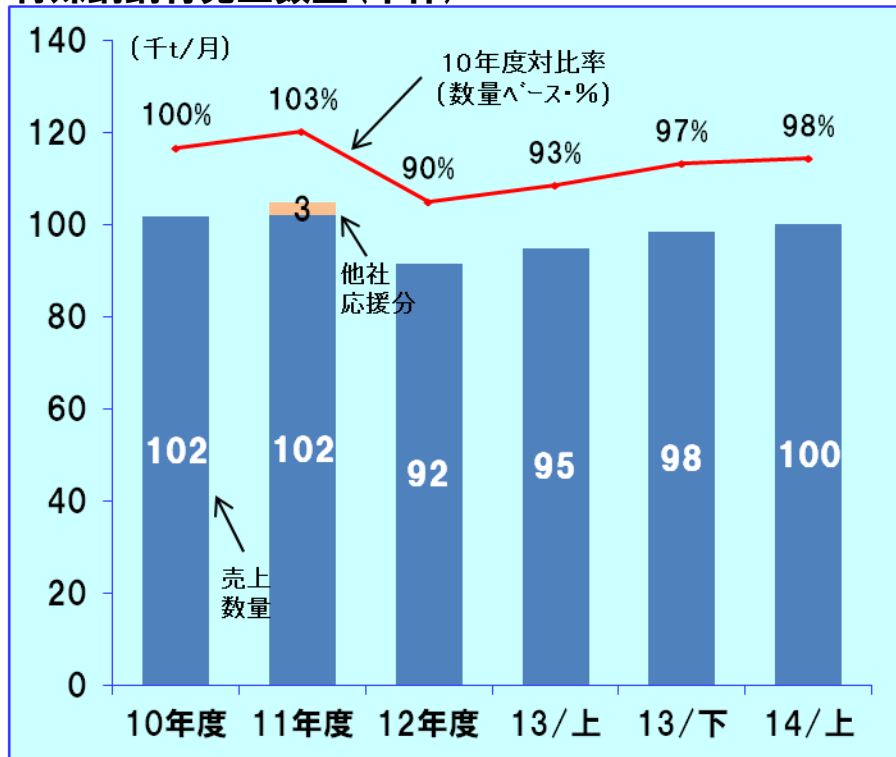


主要製品 14年度概況①

特殊鋼鋼材

<需要環境>

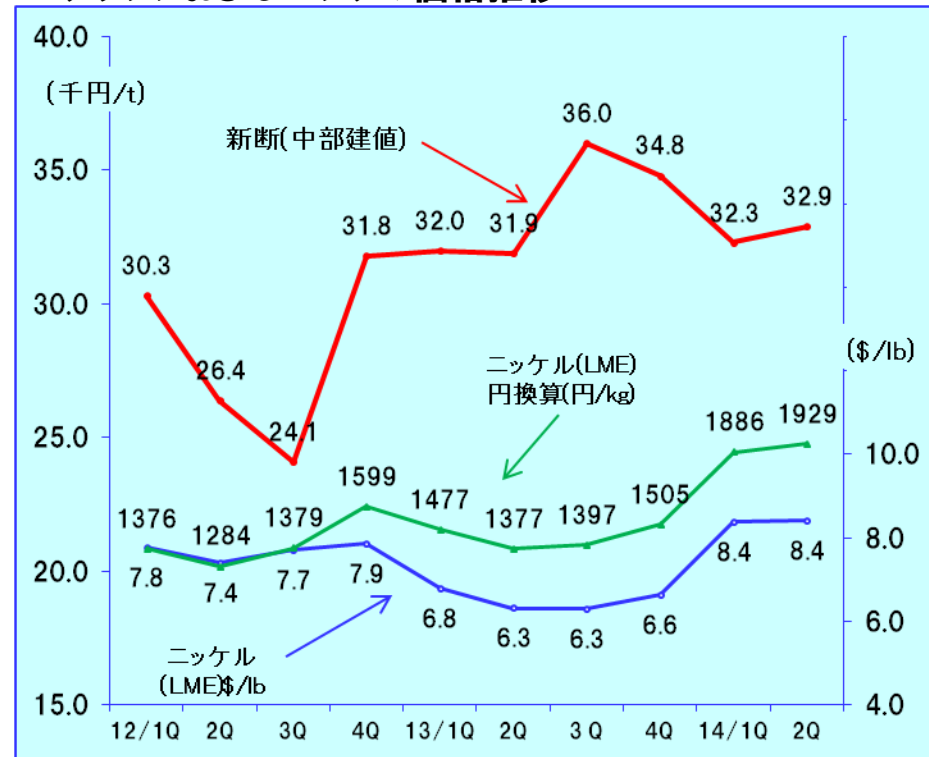
特殊鋼鋼材売上数量(単体)



- 産業機械関連の需要回復継続
- 自動車・IT向けステンレス需要好調により売上数量増加

<原材料市況>

スクラップおよびニッケル価格推移

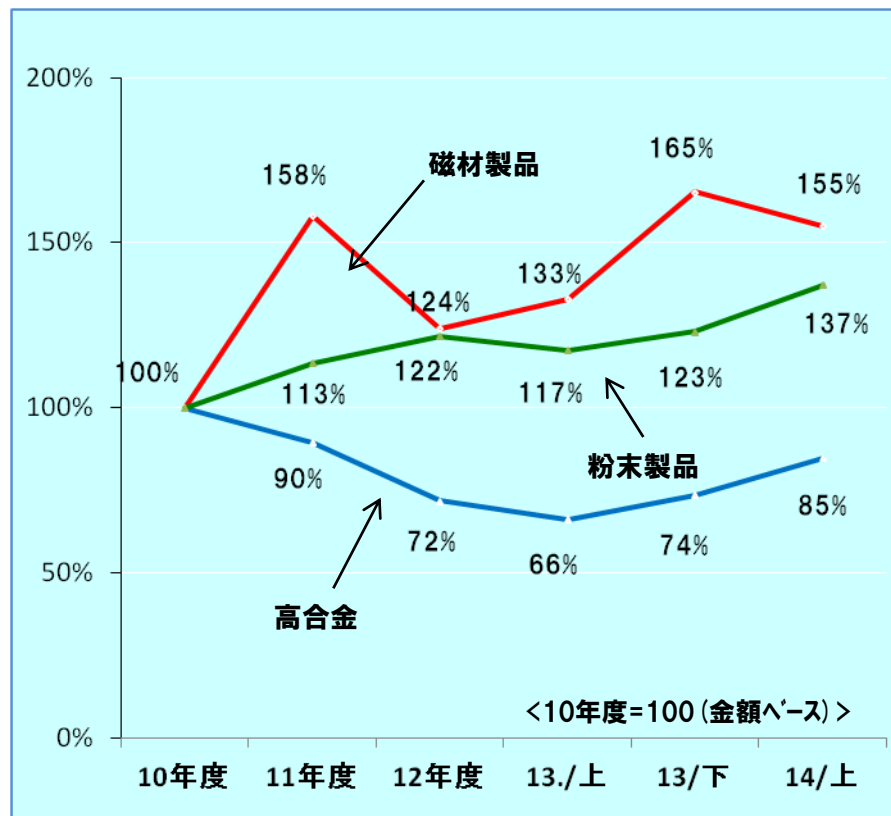


- スクラップ: 国内需要旺盛で高止まり
- ニッケル: インドネシア禁輸措置影響による供給不安等により高騰

主要製品 14年度概況②

機能材料・磁性材料

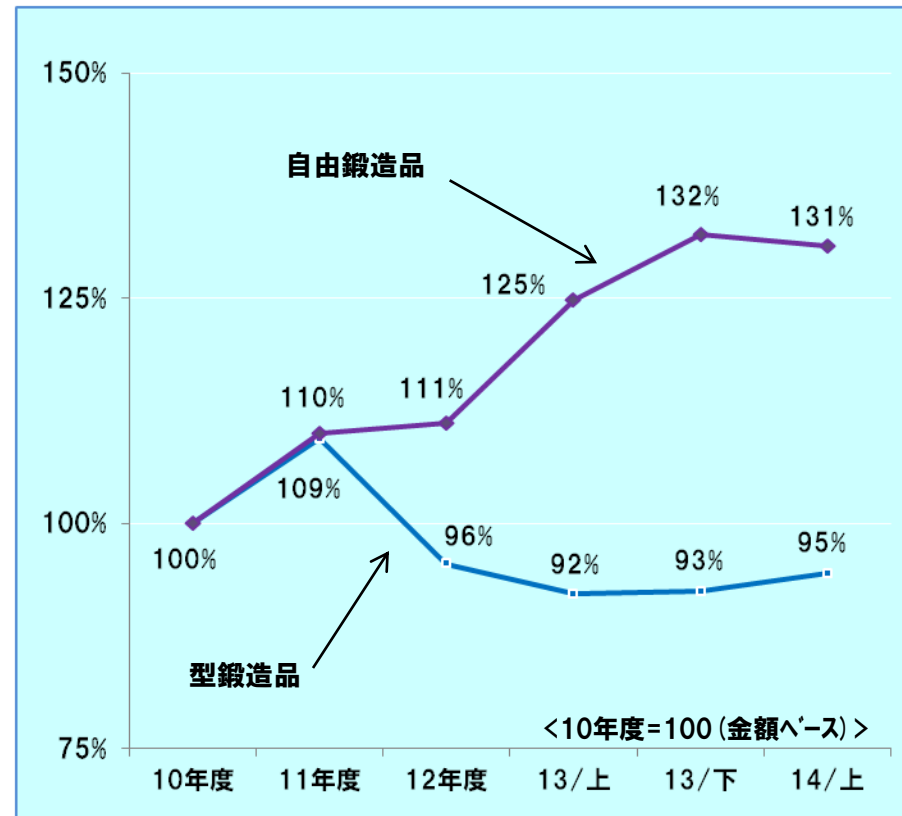
<高合金・磁材製品・粉末製品>



- 磁材製品：車載用途 (EPS) 需要拡大
- 粉末製品：合金鋼 (エンジン) 需要堅調
- 高合金：自動車用途拡大

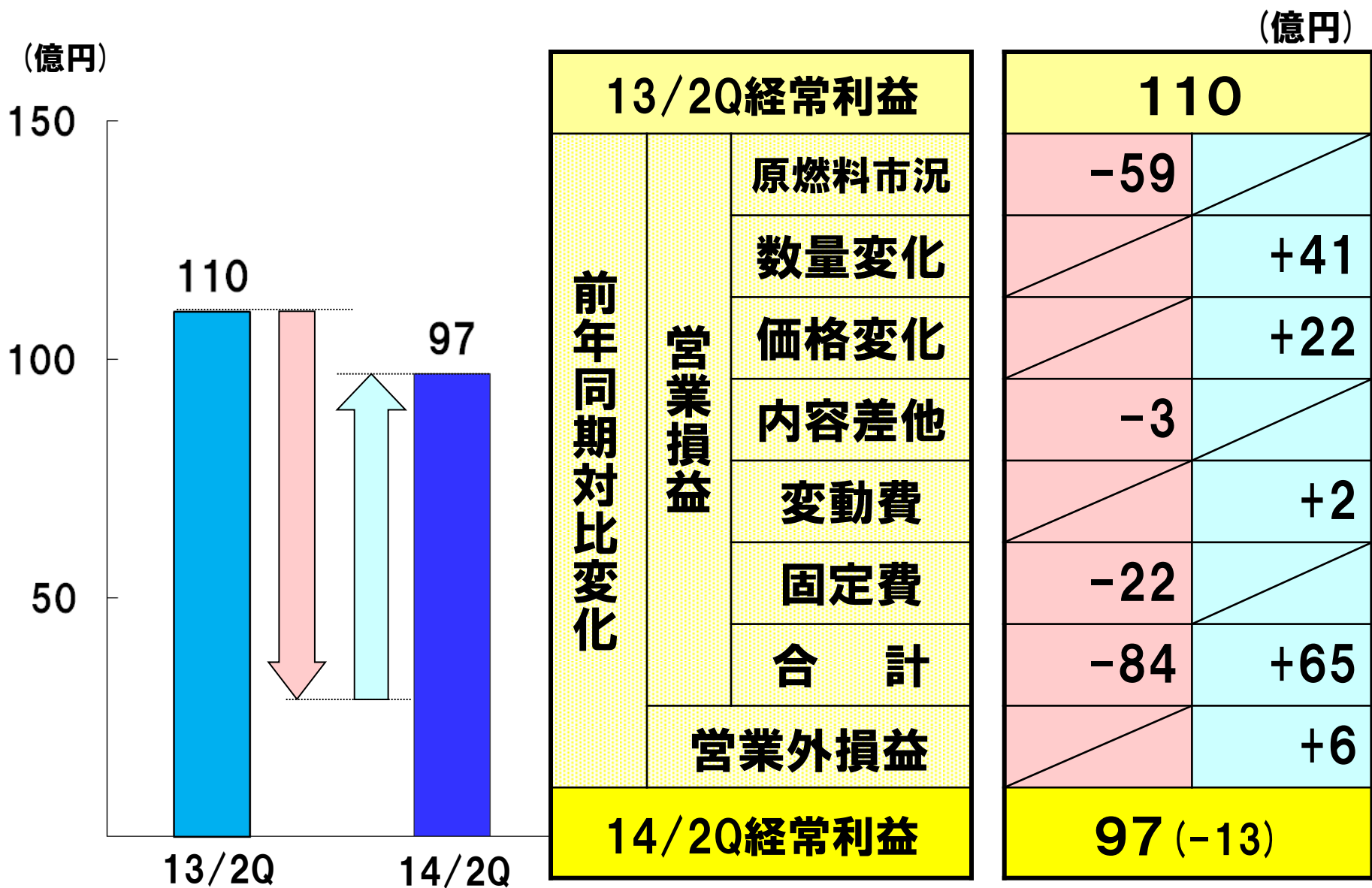
自動車部品・産業機械部品

<型鍛造品・自由鍛造品>



- 自由鍛造品：航空機・Oil&Gas関連需要は堅調だが、重電関連弱含み。
- 型鍛造品：アセアンのトラック需要に底打ち感

14/4～9経常利益の変化要因(前年同期対比)



セグメント別売上高・営業利益(前年同期差)

(億円)

		13/4-9 実績 (A)	14/4-9 実績 (B)	前年同期差 (B) - (A)
特殊鋼鋼材	売上高	887	951	64
	営業利益	23	6	-17
機能材料・磁性材料	売上高	705	787	82
	営業利益	54	67	13
自動車部品・ 産業機械部品	売上高	471	492	21
	営業利益	23	4	-19
エンジニアリング	売上高	111	107	-4
	営業利益	▲1	3	4
流通・サービス	売上高	47	52	5
	営業利益	7	7	0
合計	売上高	2,221	2,389	168
	営業利益	106	87	-19

旧特殊鋼鋼材売上

数量(単体)

569 千t

600 千t

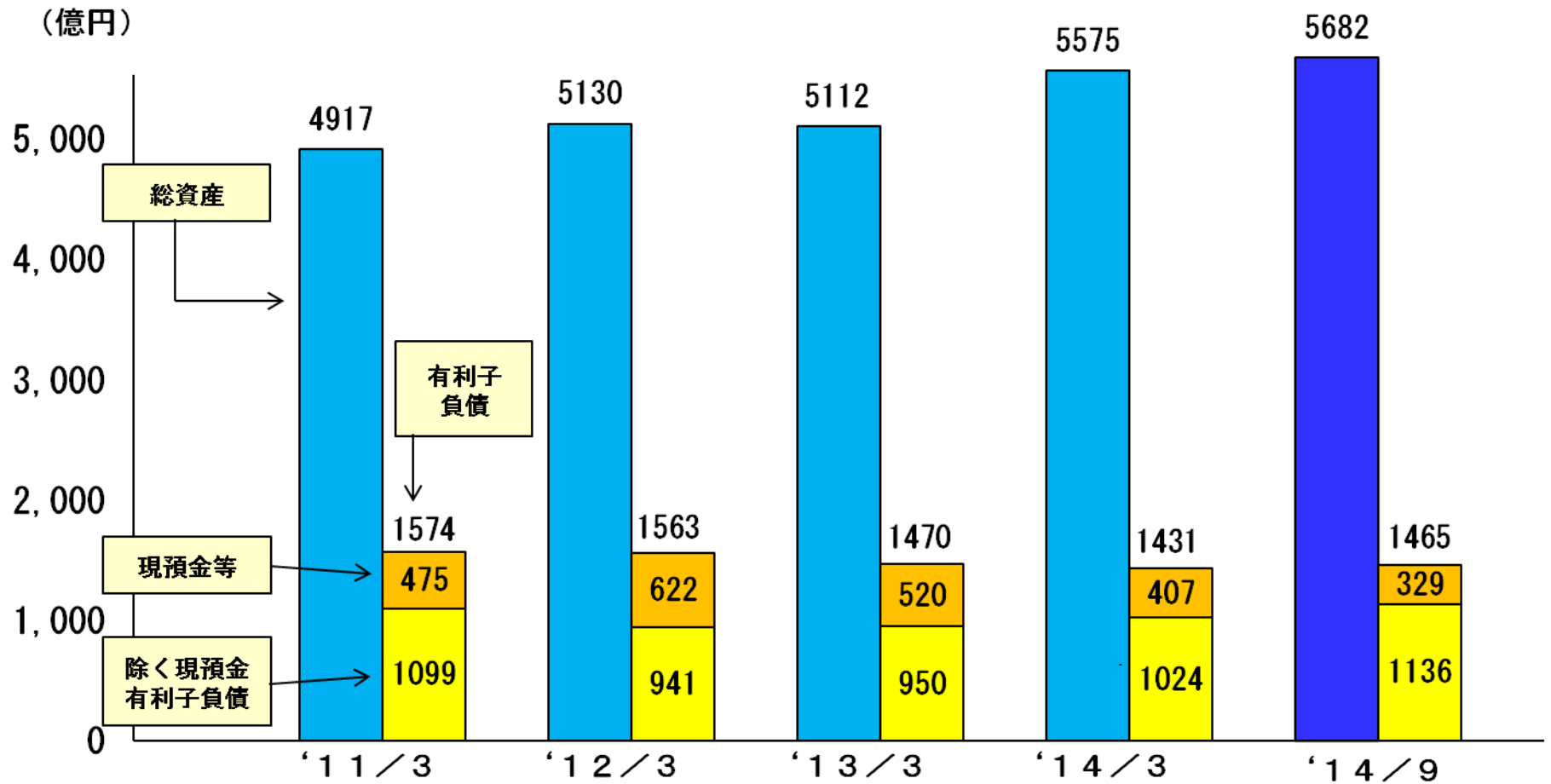
31 千t

14/4~9 特別損益・当期純利益について

(億円)

14/4~9 経常利益	97
特別損益	▲14
法人税ほか	▲42
14/4~9 当期純利益	41

総資産、有利子負債、D/Eレシオ

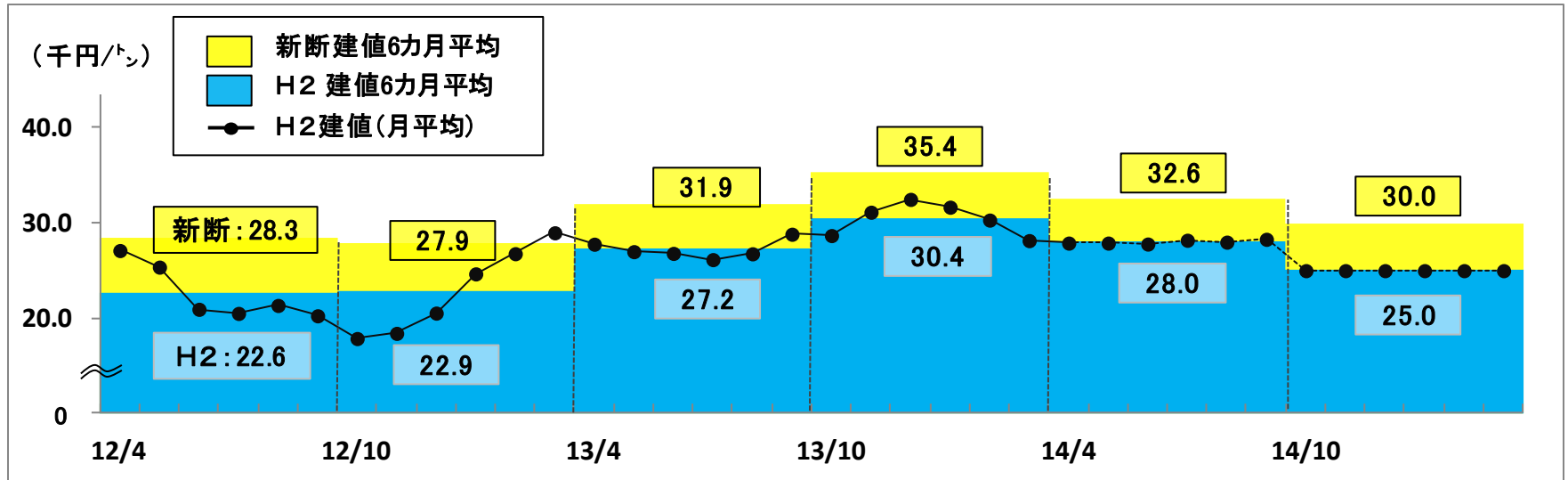


	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'14/9
ROA	6.6%	6.3%	3.2%	3.8%	3.4%
D/E	0.88	0.79	0.69	0.62	0.62

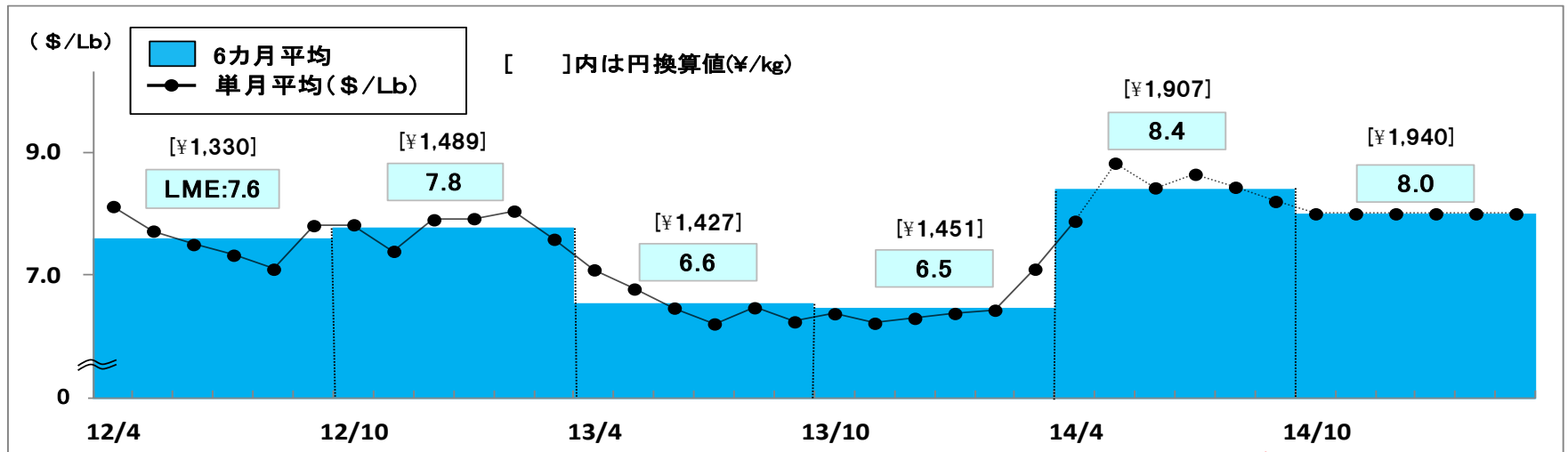
2014年度見通し

原料市況(鉄スクラップ・ニッケル)

<中部地区H2、新断建値>



<ニッケルLME価格>

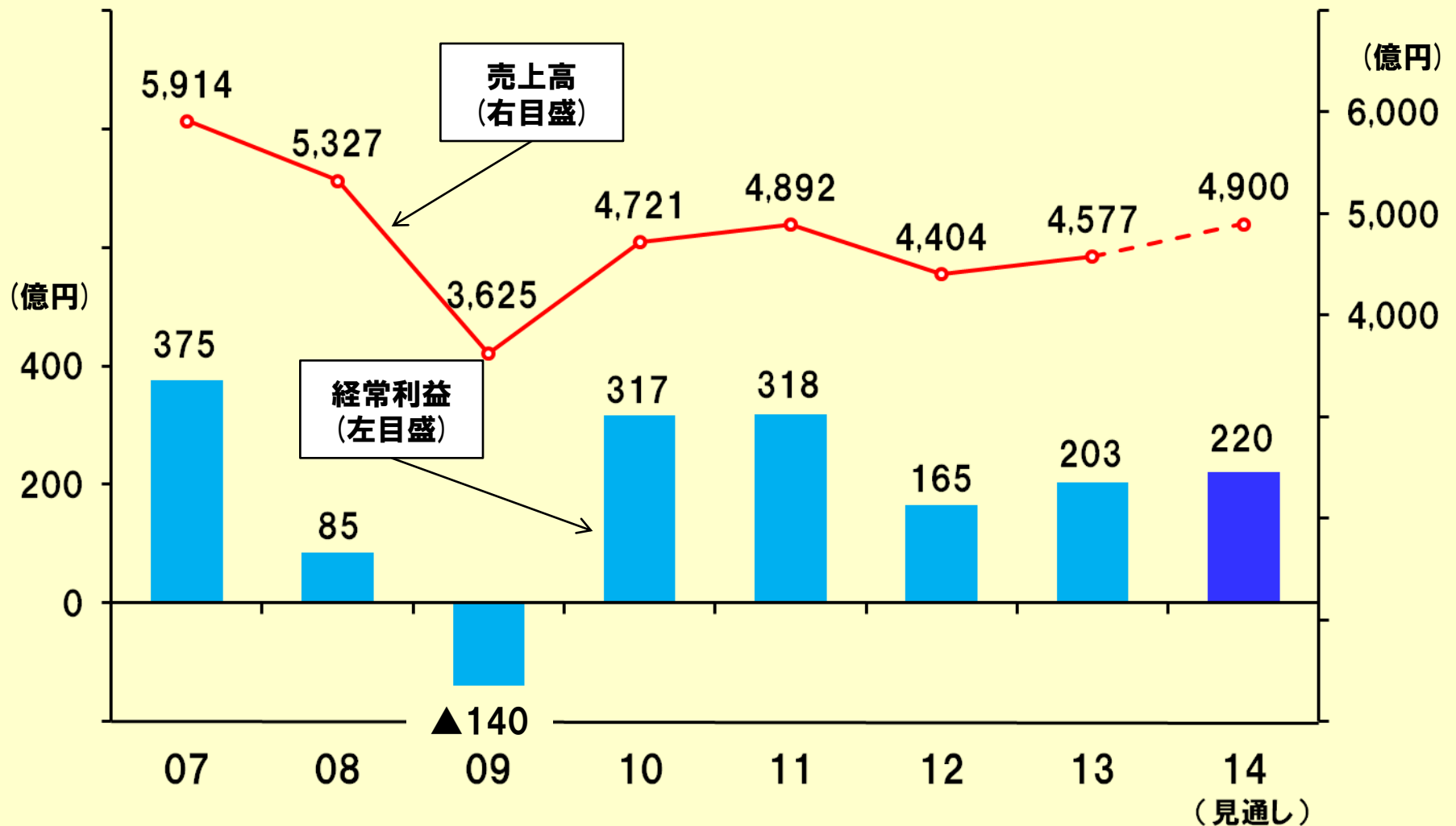


14年度 利益計画の前提（市況）

	単位	14年度 4～9実績 (当初前提差)	14年度 10～3計画前提 (当初前提差)
鉄スクラップ 上段:中部H2建値 下段:中部新断建値	千円/t	28.0 (+2.0)	25.0 (-3.0)
		32.6 (+1.6)	30.0 (-3.0)
ニッケル (LME)	\$/LB	8.4 (+1.6)	8.0 (+1.2)
モリブデン (MD)	\$/LB	13.2 (+2.2)	11.0 (±0.0)
原油 (ドバイ)	\$/B	103.8 (-1.2)	90.0 (-15.0)
為替レート (TTM)	円/\$	103.1 (-1.9)	110.0 (+5.0)

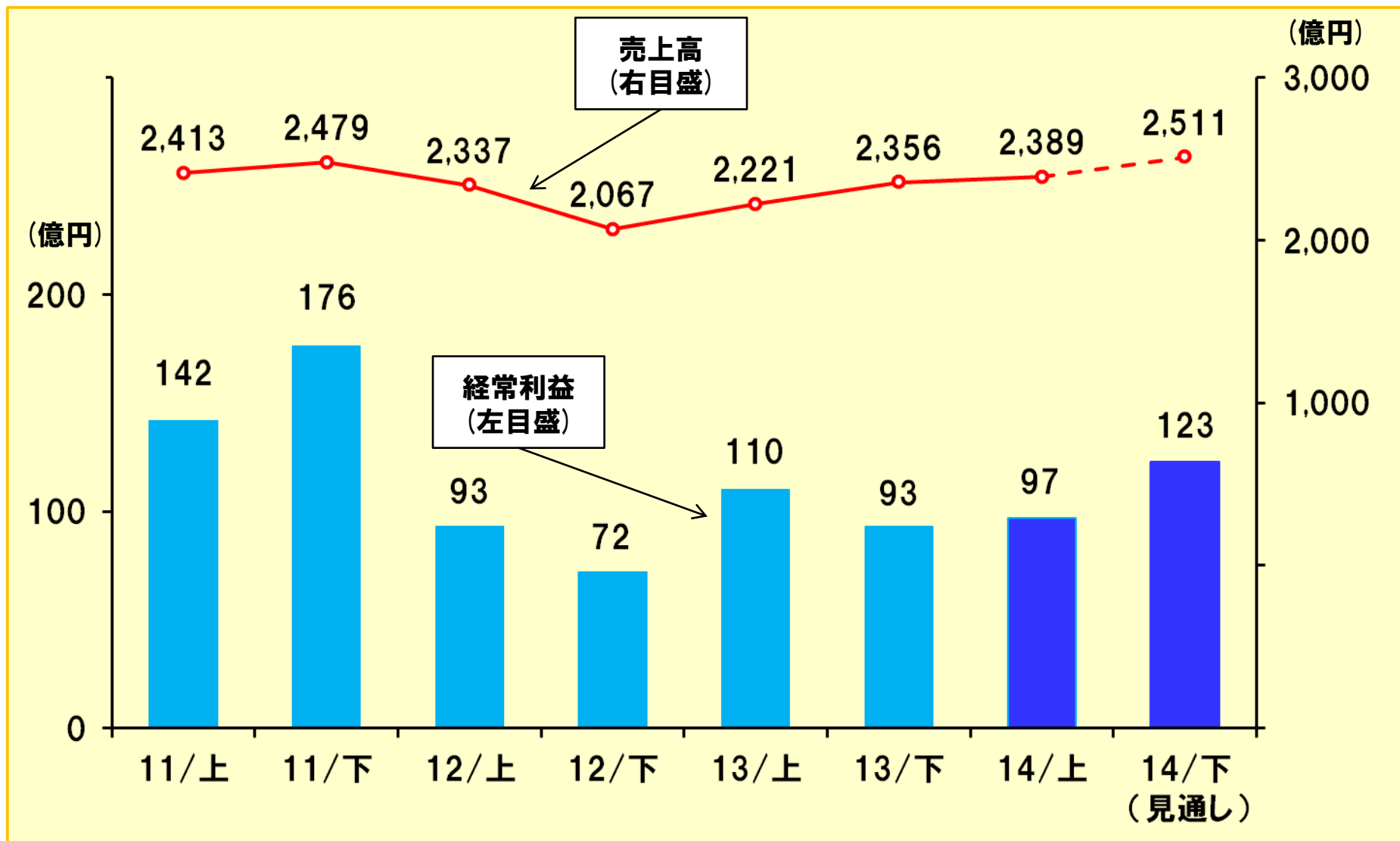
14年度 連結業績見通し

売上高・経常利益推移

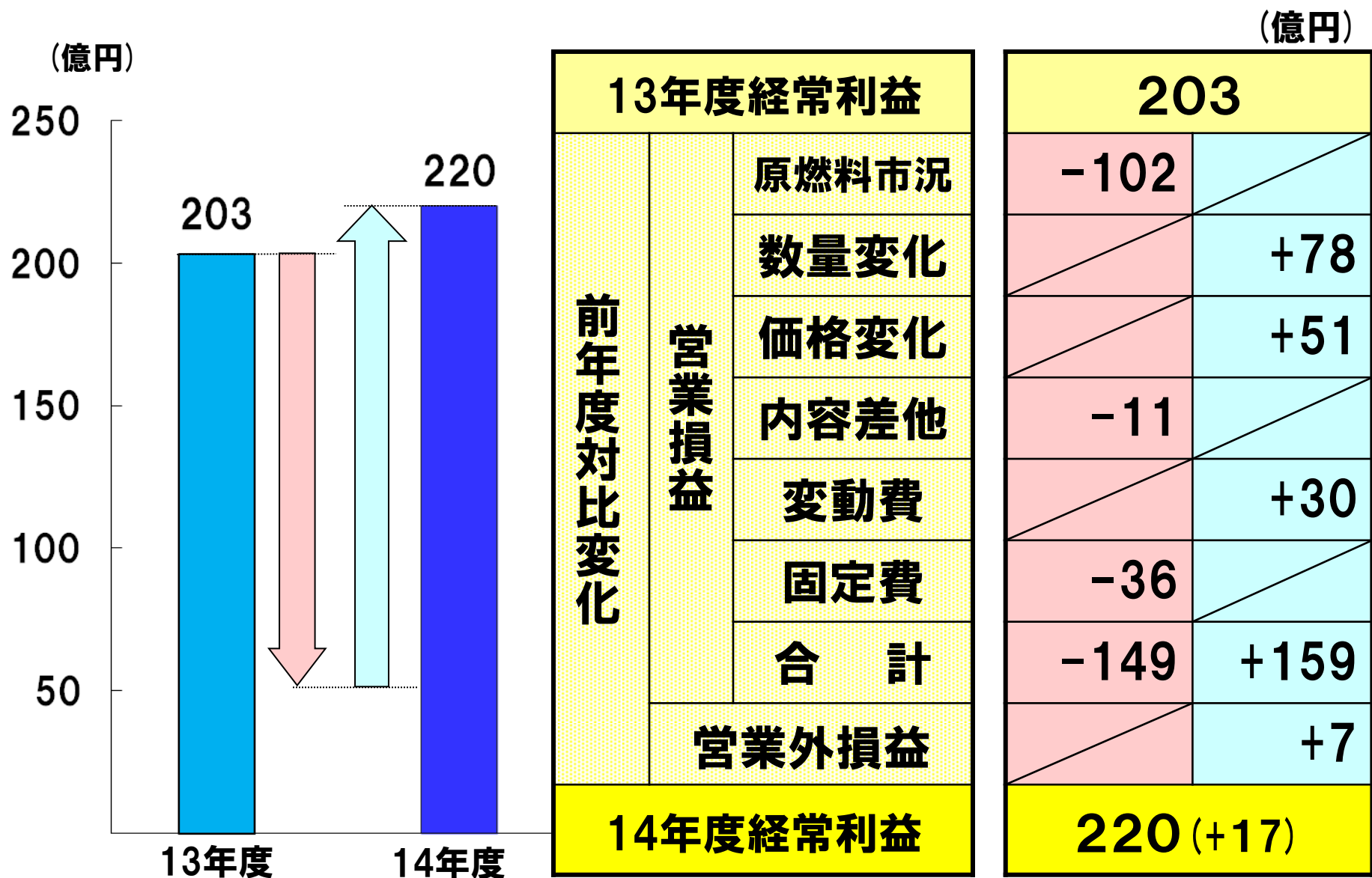


14年度 連結業績見通し(半期)

売上高・経常利益推移



14年度経常利益の変化要因 (前年度対比)



セグメント別売上高・営業利益推移(前年度差)

(億円)

		13年度 実績 (A)	14年度 見通し (B)	前年度差 (B) - (A)
特殊鋼鋼材	売上高	1,841	1,939	98
	営業利益	17	28	11
機能材料・磁性材料	売上高	1,435	1,598	163
	営業利益	111	136	25
自動車部品・ 産業機械部品	売上高	970	1,021	51
	営業利益	38	13	-25
エンジニアリング	売上高	241	237	-4
	営業利益	11	12	1
流通・サービス	売上高	90	105	15
	営業利益	13	11	-2
合計	売上高	4,577	4,900	323
	営業利益	190	200	10

旧特殊鋼鋼材売上

数量(単体)

1,159 千t

1,222 千t

63 千t

セグメント別売上高・営業利益推移(半期別)

(億円)

		14年度		
		4-9 実績	10-3 見通し	通期 見通し
特殊鋼鋼材	売上高	951	988	1,939
	営業利益	6	22	28
機能材料・磁性材料	売上高	787	811	1,598
	営業利益	67	69	136
自動車部品・ 産業機械部品	売上高	492	529	1,021
	営業利益	4	9	13
エンジニアリング	売上高	107	130	237
	営業利益	3	9	12
流通・サービス	売上高	52	53	105
	営業利益	7	4	11
合 計	売上高	2,389	2,511	4,900
	営業利益	87	113	200

旧特殊鋼鋼材売上 数量(単体) 600千t 622千t 1,222千t

14年度 特別損益・当期純利益について

(億円)

14年度 経常利益	220
特別損益	▲29
法人税ほか	▲91
14年度 当期純利益	100

14年度 配当について

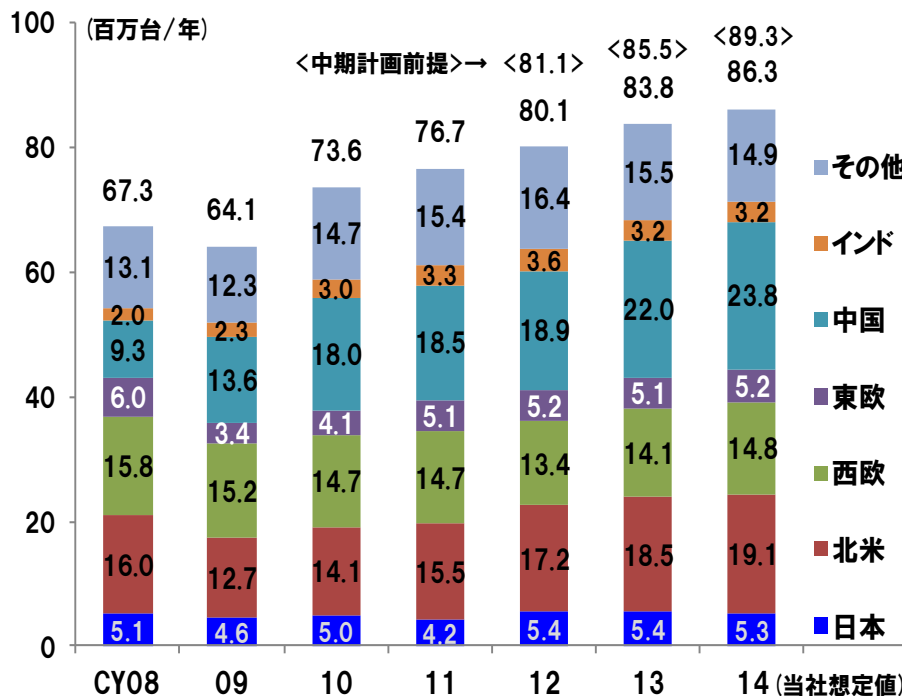
	13年度		14年度	
	中間期	通 期	中間期	通 期
経常利益 (億円)	110	203	97	220
当期純利益 (億円)	68	126	41	100
配当 (円/株)	2.5	5.0	3.0	6.5
配当性向 (%)	16.0	17.2	31.6	28.2

市場環境認識

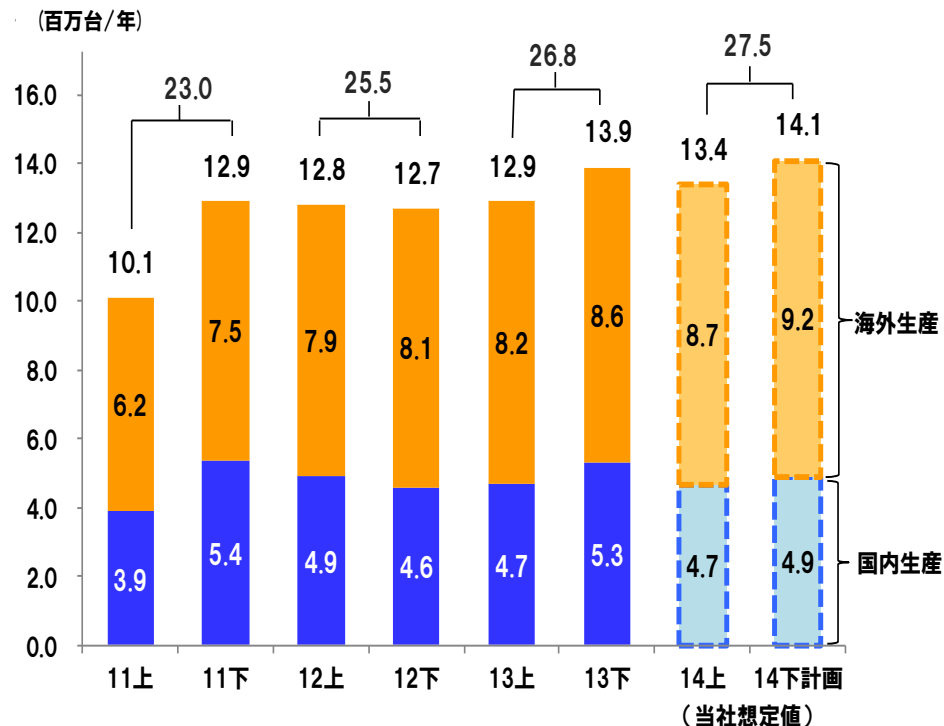
主要市場の動向<自動車>

自動車関連需要

<世界自動車全需予測>



<日系自動車生産見通し>



世界需要：北米、中国市場が牽引し3%程度の成長と想定

日系生産：海外生産増加で増加の見込であるものの、足元弱い動きもみられる。

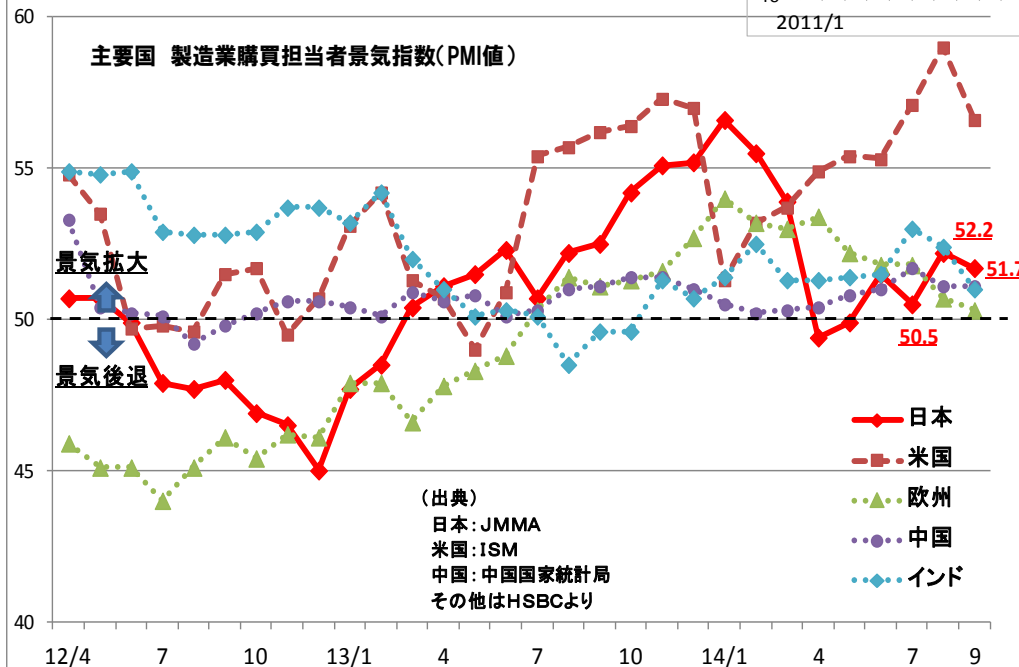
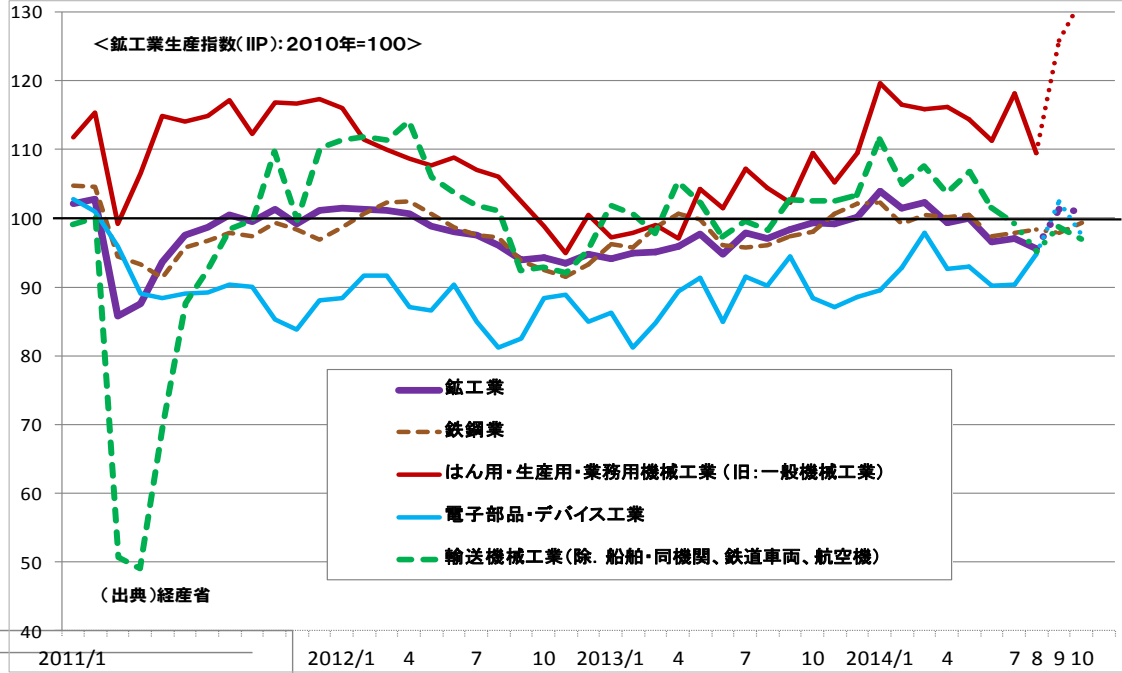
主要市場の動向<産業機械>

産業機械関連需要

【国内市場】

- ・消費増税に伴う駆け込み需要の反動の中で、個人消費を中心に弱い動きがみられるものの、鉱工業生産は緩やかな回復局面へ
- ・設備投資も企業収益の改善から、緩やかに回復

→国内特殊鋼需要は底堅く推移



【海外市場】

- ・世界経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復が続くことが期待される。
- ・アメリカの金融緩和縮小影響、ヨーロッパ、中国やその他新興国経済の先行き、地政学リスクについて留意する必要がある

→円安定着もあり、輸出は増加基調へ

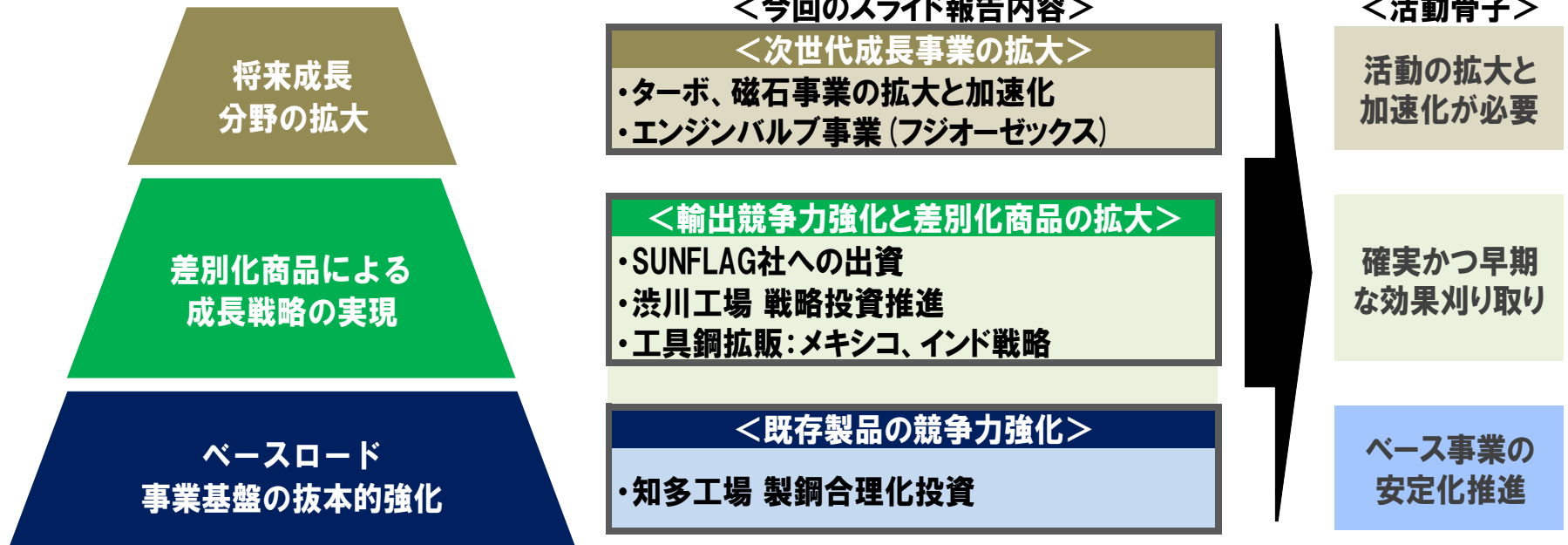
事業環境認識

<向かうべき方向性=成長戦略のイメージ>

<<経営基本方針>>

世界最強の特殊鋼メーカーを目指して

大競争時代に勝ち残るための
『企業体質強化』と『成長戦略の実現』



14中期計画の最終年度として、将来の成長を見据えた活動を拡大/加速化させる。

重点課題

ベースロード事業基盤の抜本的強化

知多工場 製鋼合理化投資

製鋼コストの抜本的削減

- ・エネルギー原単位削減
- ・歩留向上
- ・諸資材コスト削減

大同得意商品の拡販

- ・#2CC製造余力創出
→グローバルリーディング
商品を拡販する

粗鋼品質向上による 製品競争力強化

- ・プロセス整流化、大容量化
による粗鋼品質向上



設備投資効果の早期発現

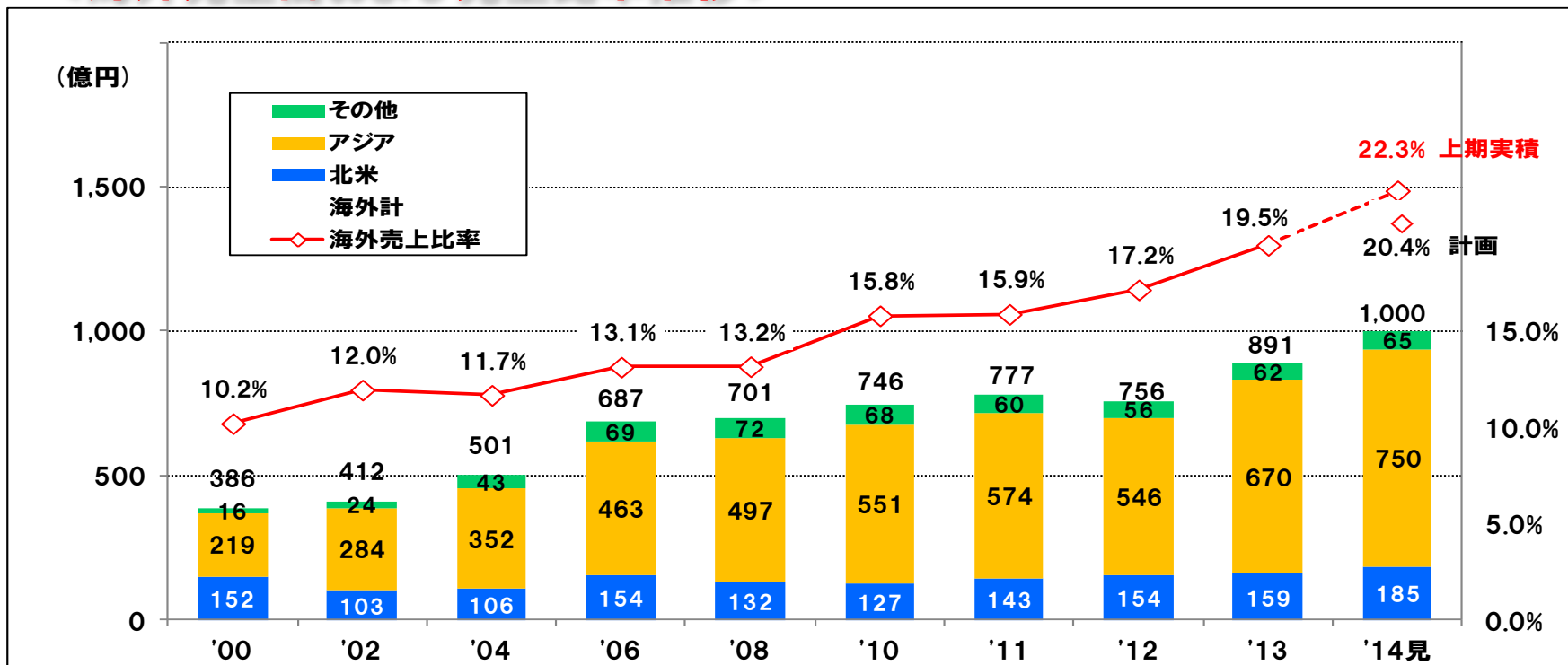
- ・新プロセスによる最大生産性追求
溶解エネルギーコスト△10%低減(目標値)を達成
- ・粗鋼能力20%拡大

輸出競争力強化と差別化商品の拡大①

海外売上の拡大

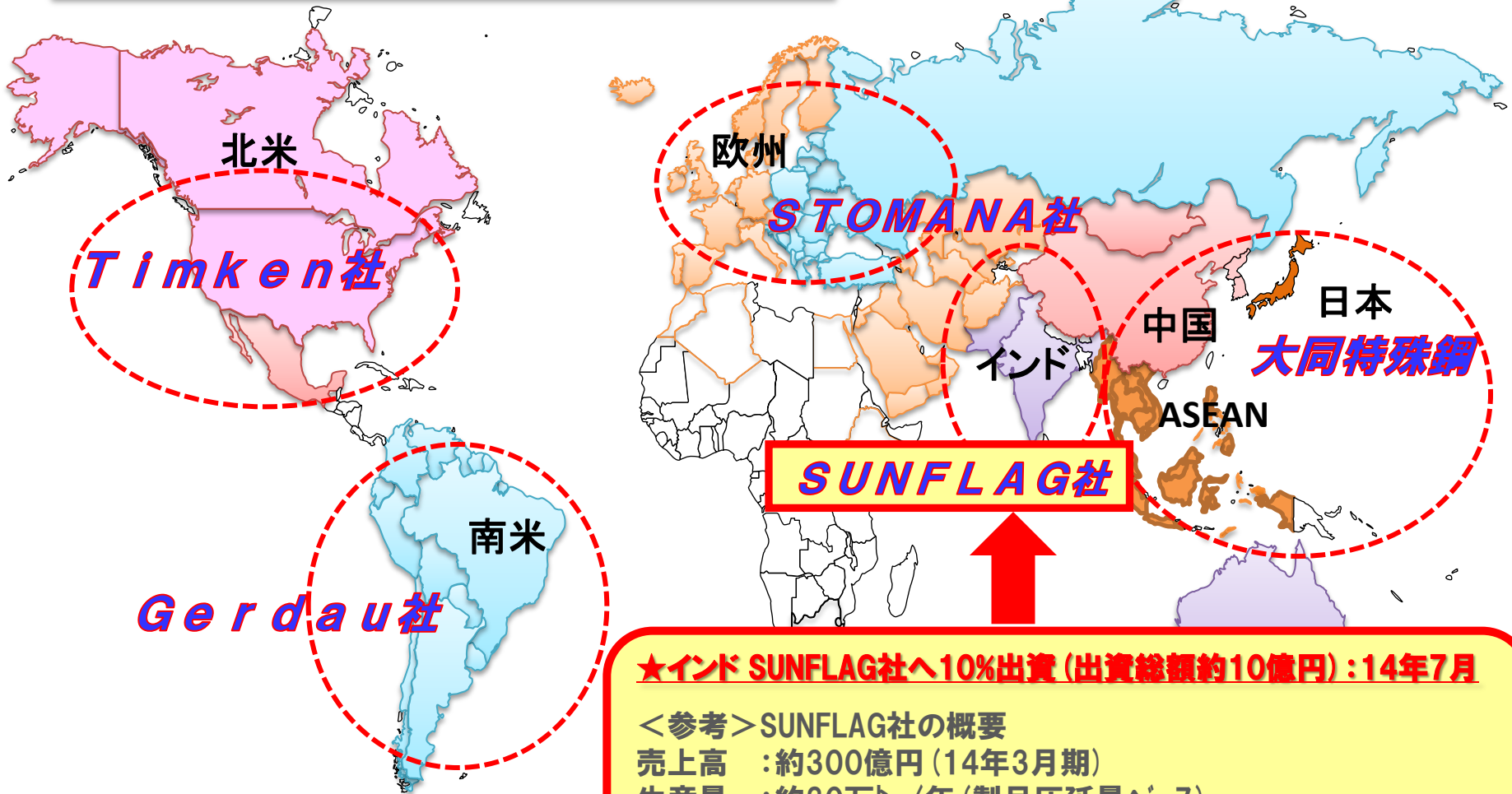
- ・アジア市場を中心に、輸出拡大(13年度は売上高・比率とも**過去最高を更新**)
- ・14年度も軸受鋼、工具鋼、自由鍛造品等のグローバルリーディング商品を中心に拡大継続の計画(売上高 **1,000億円**、売上比率**20%超**) ※14/上実績=売上534億(22.3%)

<海外売上高および売上比率推移>



輸出競争力強化と差別化商品の拡大②

世界特殊鋼ミルとの提携・交流による
グローバルネットワーク



★インド SUNFLAG社へ10%出資(出資総額約10億円):14年7月

<参考>SUNFLAG社の概要

売上高 :約300億円(14年3月期)

生産量 :約30万トン/年(製品圧延量ベース)

生産鋼種:構造用鋼、ステンレス鋼

従業員数:約1,500名

輸出競争力強化と差別化商品の拡大③

澁川工場 戦略投資推進

澁川工場に、最新鋭の**真空誘導溶解炉(世界最大級22トンのVIM)x1炉**と**特殊二次溶解炉(VARx1炉・ESRx1炉)**を増強する。(投資総額約70億円)

VIM: <16年度稼動予定>航空機エンジンシャフト増産対応とOil&Gas用高合金の新規拡販

VAR:<15年1月～稼動開始予定>

//

ESR:<15年5月～稼動開始予定>プラスチック金型用鋼(NAK鋼)増産対応

澁川工場QCD競争力の拡充



輸出競争力強化と差別化商品の拡大④

工具鋼海外展開の推進(海外拠点戦略)

<工具鋼ビジネス・グローバル拡販>

- 徹底した原低によるコスト競争力強化
- 戦略的増産設備投資による増産対応
- One-Stopサービス、世界同一品質提供
- 海外成長需要の獲得

インド現地法人設立検討

- ◆インド成長市場への新規参入
⇒日系ユーザー現調化対応
- 「トータルソリューション」を武器に日系中心にインドでのビジネス展開を図る

「グローバルリーディング商品」と「ソリューション体制」で拡販

メキシコ現地法人設立

<まずはメキシコFS拠点として>

※将来的には北米・南米のマーケットも視野にいたれたビジネス展開の基幹センターとして期待できる。

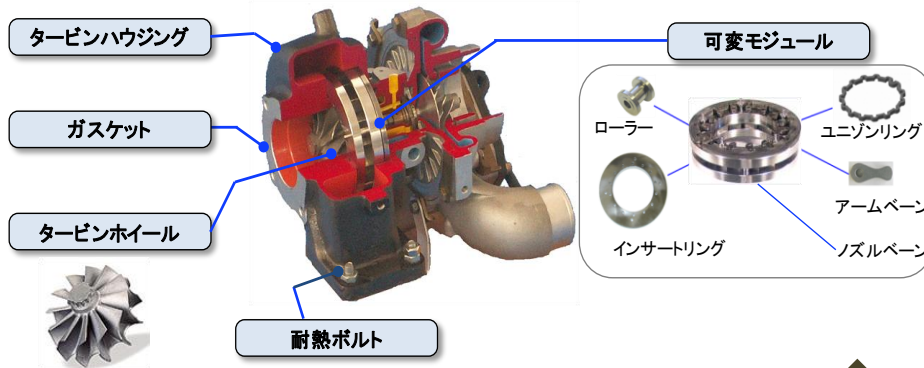
次世代成長事業の拡大①

ターボ、磁石事業の拡大

ターボ部品事業(DCC)

- ・ガソリンエンジンへのターボ搭載拡大により年率10%以上の成長が継続
- ・市場は欧州から中国・北米へ拡大
(燃費・排ガス規制対応で大衆車へ適用)

大同グループ ターボ・チャージャービジネス



磁石事業(DECグループ)

- ・自動車の環境対応、機能向上にともないネオジム磁石市場は拡大継続



2014年10月1日～ 上記のターボ部品事業と磁石事業について、大同特殊鋼の関連事業部内に戦略事業推進室を新設し、戦略事業の加速化を狙う。

次世代成長事業の拡大②

エンジンバルブ事業(フジオーゼックス)

高機能エンジンバルブ増産(グローバル対応)と生産体制再構築

- 中空バルブ生産能力増強
(燃費性能向上によるエコカー需要の取り込み)
- 国内生産体制の再構築
(静岡工場・藤沢工場への生産再編投資)



- 海外生産体制(グローバル対応)の拡充
インドネシアへエンジンバルブ製造会社設立
会社名: PT. FUJI OOZX INDONESIA



10月7日 開所式

設備投資

《投資戦略の概要》

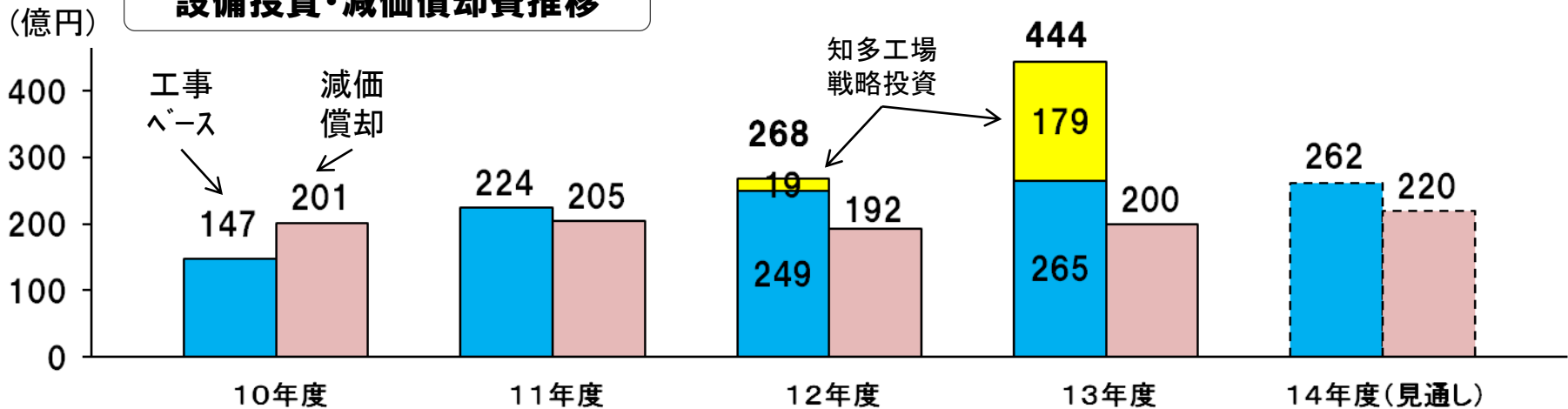
・ベースロード事業基盤の抜本的強化

- … 知多型鍛工場 高機能新鍛造機(SHF)導入<15年初旬稼働予定>
⇒製品品質向上とコスト競争力強化

・輸出競争力強化・差別化商品の拡大

- … 渋川工場 特殊溶解プロセス増強
⇒拡大する航空機・Oil&Gas関連需要獲得
- … グローバルリーディング商品の拡販(工具鋼海外部品・販売拠点の拡充)
- … 次世代成長事業の拡大(エンジンバルブ・車載磁石・ターボ部品)
⇒生産・販売能力拡充・最適生産体制の確立

設備投資・減価償却費推移



その他（今後の予定）

次期中期経営計画

**17中期経営計画
（2015～17年度）**

2015年5月公表予定

Fact Book

1. 業績のハイライト

連結

(百万円)

	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	10/9	11/9	12/9	13/9	14/9
売上高	532,655	362,507	472,062	489,154	440,428	457,731	229,456	241,308	233,724	222,123	238,917
営業利益	9,115	▲14,050	32,730	31,533	15,425	18,977	16,316	14,562	9,604	10,562	8,664
経常利益	8,533	▲13,994	31,726	31,762	16,475	20,287	15,960	14,226	9,304	11,033	9,670
当期純利益	▲8,147	▲14,610	23,003	22,717	10,983	12,616	11,284	8,383	5,507	6,771	4,116
研究開発費	4,244	3,909	4,253	4,360	4,560	5,160	2,042	2,143	2,065	2,449	2,671
設備投資額(計画)	13,400	7,900	18,900	39,700	25,400	26,400	9,200	11,200	10,200	10,700	10,900
設備投資額(工事)	19,800	13,400	14,700	22,400	26,800	44,400	—	—	—	—	—
減価償却費	21,809	20,303	20,072	20,463	19,229	20,052	9,871	9,807	9,390	9,352	10,650
金融収支	▲741	▲1,442	▲982	▲744	▲362	28	▲530	▲367	▲268	▲136	396
総資産	496,411	464,629	491,721	512,968	511,159	557,522	479,697	487,570	500,213	548,455	568,193
自己資本	166,235	159,301	178,348	198,653	211,921	232,153	165,466	181,564	196,338	225,031	237,892
有利子負債	207,123	173,790	157,445	156,336	146,999	143,085	172,045	149,489	149,129	152,141	146,470
従業員数(人)	10,212	10,414	10,272	10,365	10,447	10,709	10,406	10,657	10,587	10,827	10,927
ROA (%)	1.6	▲2.9	6.6	6.3	3.2	3.8	6.8	5.8	3.7	4.2	3.4
ROE (%)	▲4.6	▲9.0	13.6	12.1	5.4	5.7	13.9	9.3	5.6	6.2	3.5
連結子会社数	32	32	32	33	32	33	32	33	32	33	33
(持分法適用会社外数)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)
連単倍率(倍)											
売上高	1.5	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6					
経常利益	7.4	—	1.7	1.7	1.8	1.9					
当期利益	—	—	1.3	1.3	1.7	1.6					

* 減価償却費は長期前払費用含まず

2. セグメント別売上高、営業利益

連結

<新セグメント(12年4月～)>

		12/3	13/3	14/3
特殊鋼鋼材	売上高	1,950	1,694	1,841
	営業利益	99	35	17
機能材料・磁性材料	売上高	1,646	1,368	1,435
	営業利益	137	66	111
自動車部品・産業機械部品	売上高	942	933	970
	営業利益	49	34	38
エンジニアリング	売上高	258	320	241
	営業利益	18	8	11
流通・サービス	売上高	96	89	90
	営業利益	12	11	13
合計	売上高	4,892	4,404	4,577
	営業利益	315	154	190

(億円)

11/4-9	11/10-3	12/4-9	12/10-3	13/4-9	13/10-3	14/4-9
962	988	902	792	887	954	951
37	62	24	11	23	▲ 6	6
829	817	721	647	705	730	787
74	63	41	25	54	57	67
463	479	475	458	471	499	492
20	29	18	16	23	15	4
109	149	193	127	111	130	107
8	10	6	2	▲ 1	12	3
50	46	46	43	47	43	52
7	5	7	4	7	6	7
2,413	2,479	2,337	2,067	2,221	2,356	2,389
146	169	96	58	106	84	87

<旧セグメント>

		07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3
特殊鋼鋼材	売上高	2,877	3,296	3,069	2,070	2,869	2,938
	営業利益	117	114	8	▲ 108	210	211
電子・磁性材料	売上高	645	792	647	347	399	426
	営業利益	34	58	▲ 6	▲ 33	18	15
自動車部品・産業機械部品	売上高	1,070	1,159	1,041	777	1,025	1,073
	営業利益	105	134	46	▲ 3	65	53
エンジニアリング	売上高	372	411	366	261	238	258
	営業利益	23	29	27	20	16	18
新素材	売上高	139	156	104	68	96	101
	営業利益	23	35	4	▲ 27	6	6
流通・サービス	売上高	123	100	100	102	94	96
	営業利益	15	14	12	10	12	12
合計	売上高	5,226	5,914	5,327	3,625	4,721	4,892
	営業利益	317	384	91	▲ 141	327	315

08/4-9	08/10-3	09/4-9	09/10-3	10/4-9	10/10-3	11/4-9	11/10-3
1,906	1,163	857	1,213	1,404	1,465	1,464	1,474
44	▲ 36	▲ 128	20	106	104	96	115
385	262	149	198	192	207	213	213
19	▲ 25	▲ 18	▲ 15	11	7	10	5
607	434	352	425	499	526	531	542
47	▲ 1	▲ 23	20	32	33	23	30
171	195	150	111	108	130	109	149
10	17	13	7	8	8	8	10
64	40	30	38	46	50	46	55
9	▲ 5	▲ 20	▲ 7	0	6	2	4
53	47	61	41	46	48	50	46
7	5	6	4	6	6	7	5
3,186	2,141	1,599	2,026	2,295	2,426	2,413	2,479
136	▲ 45	▲ 170	29	163	164	146	169

※10/3、09/4-9、09/10-3の「電子・磁性材料」セグメントと「自動車部品・産業機械部品」セグメントは実績の一部を組替えて表示している

3. 連結会社一覧

セグメント	会社名	事業の内容
特殊鋼鋼材	東北特殊鋼(株)	* 各種高級特殊鋼・普通鋼の製作加工及び販売、並びに金属熱処理
	理研製鋼(株)	* 特殊鋼二次製品（軸受鋼）、切削工具、及び工作・産業機械の製造・販売
	大同DMソリューション(株)	工具鋼他特殊鋼鋼材の販売、金型・金型部品の製造・販売及び金属熱処理
	丸太運輸(株)	* 運輸業、倉庫業、場内作諸作業の請負業及び土木建築請負業等
	川一産業(株)	* 運輸及び倉庫業
	大同資材サービス(株)	生産用資材等の販売
	大同エコメット(株)	製鋼用副資材の開発、製造、販売、製鋼の廃棄物・副産物の再資源化
	大同テクニカ(株)	鋼材等の疵取、整備、加工等の作業
	桜井興産(株)	* 金属製品の熱処理の請負
	泉電気工業(株)	* 電気工事の設計施工および自動制御盤等の設計製作
	天文大同特殊鋼股份有限公司	金型製品の熱処理、加工、販売と金型素材の販売（在台湾）
	DAIDO AMISTAR(S) PTE LTD	金型製品の加工、販売と金型素材の販売（在シンガポール）
	DAIDO AMISTAR(M) SDN. BHD.	金型製品の熱処理、加工、販売と金型素材の販売（在マレーシア）
	DAIDO PDM(THAILAND) Co., LTD.	金型製品の熱処理、加工、販売と金型素材の販売（在タイ）
機能材料・磁性材料	日本精線(株)	ステンレス鋼線、金属繊維等の製造、販売
	タイ精線(株)	ステンレス鋼線の製造・販売
	下村特殊精工(株)	特殊鋼及びその他金属の二次加工製品の製造・販売
	(株)ダイドー電子	磁性材料及び電子機器部品の製造、加工及び販売
	Daido Electronics(Thailand) Co., Ltd.	磁性材料及び電子機器部品の製造、加工及び販売（在タイ）
	大同電工(蘇州)有限公司	磁性材料及び電子機器部品の製造、加工及び販売（在中国）
	大同スペシャルメタル(株)	米国Special Metals社との合併：ニッケル合金製品販売
	日星精工(株)	ネジ、ボルト及び自動車用冷鍛部品の製造、販売

(注) * 持分法適用会社

セグメント	会社名	事業の内容
自動車部品・ 産業機械部品	大同精密工業(株)	圧縮機部品、ターボ部品、カップリング等の製造および販売
	フジオーゼックス(株)	エンジンバルブ等の製造・販売
	東洋産業(株)	リングロール製品の製造、販売
	日本鍛工(株)	型鍛造品の製造、販売
	OHIO STAR FORGE CO.	精密鍛造品の製造、販売 (在米国)
	大同スターテクノ(株)	鍛鋼品の疵取、整備、機械加工等の作業
	(株)大同キャスティングス	鋳造品、特殊鋼管材の製造および販売
エンジニアリング	大同プラント工業(株)	工業炉の設計、製作および販売、工業炉の保守、点検、修理
	大同マシナリー(株)	工作諸機械、各種機械の製造および販売、機械設備の保守、点検、修理
	大同環境エンジニアリング(株)	灰溶融炉設備、下水汚泥処理設備の運転・保守業務請負
流通・サービス	大同興業(株)	特殊鋼鋼材、各種機械、製鋼用原料資材専門商社
	Daido Steel (America) Inc.	大同グループ製品の輸出入業務、グループの対米窓口 (在米国)
	(株)大同ライフサービス	不動産の売買、分譲、福利厚生施設管理、保険代理店業務、旅行業、印刷業
	(株)ライフサポート	清掃、警備、給食、設備管理、緑化管理、派遣業
	木曾駒高原観光開発(株)	ゴルフ場業、別荘地管理及び簡易水道事業
	(株)スターインフォテック	情報システムの企画、設計、開発、保守運用、ソフトウェア開発・販売
	(株)大同分析リサーチ	鉄鋼、鋳物、セラミックス等の分析、調査、コンサルタント

(注記)

本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。